



2022年6月



<絵カード>

今月から療育で使用している教材などをご紹介します。

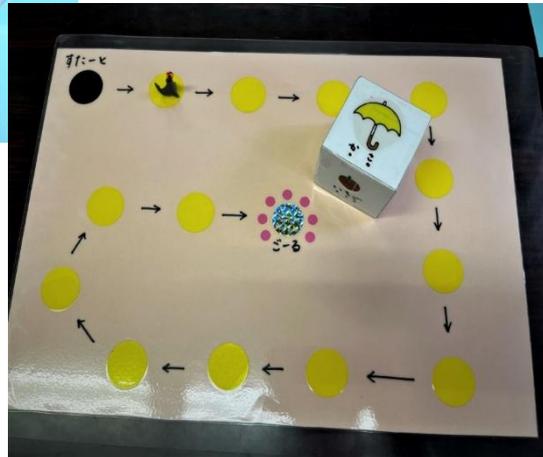
こちらはグループ療育で使用しているスケジュールです。

活動の前に今日はどんなことをするのか見通しをもてるように絵カードで活動内容を知らせています。

今から始まる活動は赤枠の中に貼り、終わると下のボックスに入れます。



2022年7月



<音韻サイコロ>

今月は、言語聴覚士の療育で使用する『音韻サイコロ』をご紹介します。

すごろく遊びに言葉のサイコロを使っています。1つ1つの音を意識する力を育てることをねらいにしています。

遊び方は、サイコロを振って出た絵の音の数だけコマを進めます。コマを進めると共に口に出して言うことで、音を意識する練習になります。



2022年8月



<トランポリン遊び>

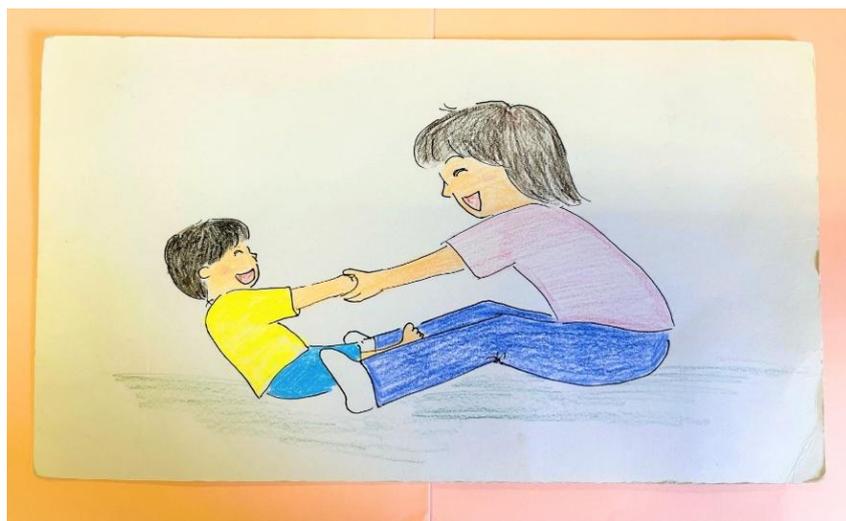
今月は、療育で使用している「トランポリンを使って、コミュニケーションをとりながら楽しむ遊び」について紹介します。

- 1、 跳びながら大人の手タッチ。
- 2、 大人のカウントに合わせて跳ぶ、止まる。
- 3、 大人と手をつないで高く跳ばせてもらう。
- 4、 子どもの動きに合わせてリアクションする。

(「ぴょーん」「おとっと」と言って一緒に跳ねたり、転んだりしてみる。)



2022年9月



<絵カード>

今回は聴覚障害がある0歳～2歳児に用いている『絵カード』をご紹介します。
この年齢の子どもたちは補聴器や人工内耳を装用していても音声だけでことばを理解することは難しく、「見てわかる」ものとして『絵カード』を使っています。写真の絵カードはふれあい遊びや手遊びをする際に、言語聴覚士が「ぎっちらこしよ
うね」などお話ししながら見せています。「見てわかる」ことで親子での遊びがもっと楽しくなるといいなと思っています。



2022年 10月



<吹くおもちゃの紹介>

今月は、言語聴覚士の療育で使用する『吹くおもちゃ（遊び）』をご紹介します。
正しい発音には吹く力も大切です。このような玩具を使い、遊びの中で吹く練習を取り入れています。

右より順に

・シャボン玉 ・吹上パイプ ・笛 ・巻き笛 ・ピンポン玉を吹いて転がす玩具



2022年11月



<ブロック遊び>

今月は保育士がグループ療育で行っている「ブロック運び」の遊びについてご紹介します。

2人で協力してブロックをバスタオルに乗せて運び、アイスクリームの形に積み上げる遊びです。どのパターンのアイスにするか、どのブロックから持っていかを話し合っ決めて、タイミングを合わせて一緒に運ぶことを大事にしています。人と協力して一つのものを作り上げる達成感や喜びを共有できるようにしています



2022年12月



サイコロゲーム>

うさぎ園では、吃音がある子さんや、数や色が苦手なお子さんへの支援として様々な市販のゲームを本来の使い方を変えながら取り入れています。

例えば、ゲームの中でサイコロを転がして出た色のコマを動かす時に「赤が1、青が2」のように決まったセリフを療育者と一緒に言うようにしています。セリフを決めることでテンポよくリズムカルにお話する練習ができます。



2023年1月



<~子どもへの声かけの工夫~>

「遊びを切り替えられないとき」①

まずは、“気持ちを受け止めて、言葉にしてあげましょう”

『わかってもらえた!』と思えるだけで

納得して、次の活動に向かいやすくなります。



2023年2月



<難聴児療育 体験ノートについて>

今月は、難聴児療育で使用している「体験ノート」について、ご紹介します。難聴障害のある小さなお子さんたちは、その場で見たことが経験の中心なので、お話を聞いて理解を広げる機会を作ることが大切です。うさぎ園のグループでは、その日の療育活動の印象深いシーンを絵にして、終了時に振り返りの時間を設けています。さらに、それを縮小コピーして保護者にファイリングしていただき、ご家庭でいろいろな声掛けをしていただくことで理解を深め、積み重ねていく機会にしています。